

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスほくと		2026 年 3 月 19 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・活動スペースの確保。	・高学年児童が多数利用している日は、学習室が狭く感じる事もある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・行事の際には、関係者からの協力をえて人材を確保している。	・通常は適切だが、休みが取りにくい時もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1		・概ね障がい者の特性に応じた環境になっているが、賃貸のため配慮が十分ではない部分もある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・刺激が多い室内でトラブルなく過ごせるよう心掛けている。	・物の配置や仕切りを使うなどの対応。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・必要に応じてパーテーションなどを使い対応している。	・個別対応をしたり、落ち着くための場所があると良い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・会議の中で検討するなどし、共有を図っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・全職員で回覧し意見交換を行った。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎朝の申し送りや日々の業務中、会議などで共有を図り必要に応じて適宜改善した。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・勤務調整をし、積極的に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・支援プログラムを作成し、学園のホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・モニタリング時にアセスメントシートに記入してもらい計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・子供の支援に関わる職員全員で共通理解をした上での支援をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・計画に沿った支援を念頭に置き支援をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・子供一人一人に対し、日々個別記録を記載し確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・ねらい及び支援内容も踏まえて、具体的に支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・担当者を決め、週案を基に活動を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・季節に合わせた行事などを取り入れながら日々、活動を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・状況を踏まえた上、必要に応じて適宜対応している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・日々職員間で打ち合わせを必ず行い、連携した支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・送迎後、引継ぎを行い一日の振り返りを毎日行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・日々の個人記録を記載し、検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4		・4つの基本活動を組み合わせ支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・個々に合わせた内容で選択肢を設けるなどの対応をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・担当者、児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・関係機関との連携を心掛けている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・送迎時に担任から学校での様子を聞き取り、その日の支援に役立っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	・相談支援事業所を通して行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		・相談支援事業所を通して行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		・営業曜日の変更を含め検討している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・こども部会などの研修には積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・送迎時や連絡帳を通して日々行っている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	・情報提供は行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・新年度や利用契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・書面や面談を通して意向の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・保護者の要望に合わせた対応で同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・適宜、面談や電話などで対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4		・行事を通して交流する機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・管理者が迅速に対応している。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・定期的に書面にて発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・守秘義務に基づき、業務に関わり十分に留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・障害の特性を理解し、無理のない支援を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	・地域のお祭りなどに参加している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・マニュアルを作成し訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		同上	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・処方箋の管理をし適宜対応している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		同上	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・マニュアルを作成し訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・家族への周知は行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・事業所内で共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・定期的に研修を行い職員間で共有している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・個別支援計画に記載し、保護者の了承を得ている。	